

株式売出届出目論見書の訂正事項分

(2025年6月 第1回訂正分)

伊澤タオル株式会社

ブックビルディング方式による売出しの条件等の決定に伴い、金融商品取引法第7条第1項により有価証券届出書の訂正届出書を2025年6月3日に関東財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

○ 株式売出届出目論見書の訂正理由

2025年5月19日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、引受人の買取引受による売出し3,750,000株が5,000,000株に、オーバーアロットメントによる売出し562,500株が750,000株に変更されるとともに、ブックビルディング方式による売出し5,750,000株(引受人の買取引受による売出し5,000,000株・オーバーアロットメントによる売出し750,000株)の売出しの条件及び売出しに関し必要な事項を2025年6月3日開催の取締役会において決定いたしましたので、これらに関連する事項を訂正するため、また、「第一部 証券情報 募集又は売出しに関する特別記載事項」の「3. グリーンシュエアオプションとシンジケートカバー取引について」の記載内容の一部を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、株式売出届出目論見書を訂正いたします。

○ 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には_____罫を付し、ゴシック体で表記しております。

第一部 【証券情報】

第2 【売出要項】

1 【売出株式(引受人の買取引受による売出し)】

<欄内の数値の訂正>

「ブックビルディング方式」の「売出数(株)」の欄：「3,750,000」を「5,000,000」に訂正。

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「2,625,000,000」を「3,625,000,000」に訂正。

「ブックビルディング方式」の「売出しに係る株式の所有者の住所及び氏名又は名称」の欄：

下記のとおり修正

東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー24階

(ジャフコ グループ株式会社内)

ジャフコSV6投資事業有限責任組合

4,000,000株

東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー24階

(ジャフコ グループ株式会社内)

ジャフコSV6-S投資事業有限責任組合

1,000,000株

「計(総売出株式)」の「売出数(株)」の欄：「3,750,000」を「5,000,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「2,625,000,000」を「3,625,000,000」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

- (注) 2. 引受人の買取引受による売出しにかかる売出株式5,000,000株のうち一部は、引受人の関係会社等を通じて、欧州及びアジアを中心とする海外市場(ただし、米国及びカナダを除く。)の海外投資家に対して販売(以下「海外販売」といい、海外販売される株数を「海外販売株数」という。)されることがあります。上記売出数は、日本国内において販売(以下「国内販売」という。)される株数(以下「国内販売株数」という。)と海外販売株数が含まれた、国内販売株数の上限であり、海外販売株数は未定であります。国内販売株数及び海外販売株数の最終的な内訳は、引受人の買取引受による売出しの需要状況等を勘案した上で、売出価格決定日に決定されます。なお、引受人の買取引受による売出しにかかる売出株数については、今後変更される可能性があります。海外販売に関しましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 本邦以外の地域において開始される売出しに係る事項について」をご参照下さい。
3. 売出価額の総額は、仮条件(700円～750円)の平均価格(725円)で算出した見込額であります。なお、当該総額は国内販売株数の上限に係るものであり、海外販売株数に係るものについては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2. 本邦以外の地域において開始される売出しに係る事項について」をご参照下さい。
4. 売出数等については今後変更される可能性があります。
需要状況によっては売出価格決定日において、売出価格の決定と合わせて売出株式数が4,000,000株以上かつ6,000,000株以下の範囲で変更される可能性があります。ただし、引受人の買取引受による売出しにおける売出株式数に売出価格を乗じた額が2,800,000,000円以上かつ4,500,000,000円以下の範囲となることを要件とします。

2 【売出しの条件(引受人の買取引受による売出し)】

(2) 【ブックビルディング方式】

＜欄外注記の訂正＞

- (注) 1. 売出価格は、ブックビルディング方式によって決定されます。
仮条件は、700円以上750円以下の価格といたします。
売出価格は、当該仮条件による需要状況、上場日までの価格変動リスク等を総合的に勘案した上で、売出価格決定日に引受価額と同時に決定される予定であります。
当該仮条件は、当社の事業内容、経営成績及び財政状態、当社と事業内容等の類似性が高い上場会社との比較、価格算定能力が高いと推定される機関投資家等の意見及び需要見通し、現在の株式市場の状況、最近の新規上場株の株式市場における評価並びに上場日までの期間における価格変動リスク等を総合的に検討して決定いたしました。
なお、当該仮条件は変更されることがあります。仮条件を変更する場合には有価証券届出書の訂正届出書を提出した上で、変更後の仮条件により改めて需要の申告を受け付けることとなり、以降の日程についても変更される可能性があります。
需要の申込みの受付に当たり、引受人は、当社株式が市場において適正な評価を受けることを目的に、機関投資家等を中心に需要の申告を促す予定であります。
なお、当該仮条件による需要状況によっては仮条件の変更を行うことなく、560円以上かつ900円以下の範囲で売出価格を決定する可能性があります。ただし、引受人の買取引受による売出しにおける売出株式数に売出価格を乗じた額が2,800,000,000円以上かつ4,500,000,000円以下の範囲となることを要件とします。

3 【売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)】

＜欄内の数値の訂正＞

「ブックビルディング方式」の「売出数(株)」の欄：「562,500」を「750,000」に訂正。

「ブックビルディング方式」の「売出価額の総額(円)」の欄：「393,750,000」を「543,750,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出数(株)」の欄：「562,500」を「750,000」に訂正。

「計(総売出株式)」の「売出価額の総額(円)」の欄：「393,750,000」を「543,750,000」に訂正。

＜欄外注記の訂正＞

- (注) 1. オーバーアロットメントによる売出しは、引受人の買取引受による売出しに伴い、その需要状況を勘案し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が行う売出しであります。売出価格決定日において引受人の買取引受による売出しにおける売出株式数に変更される場合には、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数も連動して600,000株以上かつ900,000株以下の範囲で変更される可能性があります。なお、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数は上限株式数を示したものであり、需要状況により減少し、又は全く行わない場合があります。
5. 売出価額の総額は、仮条件(700円～750円)の平均価格(725円)で算出した見込額であります。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

3. グリーンシュエアプションとシンジケートカバー取引について

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が当社株主であるジャフコSV6投資事業有限責任組合及びジャフコSV6-S投資事業有限責任組合(以下「貸株人」という。)より借入れる株式であります。これに関連して、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、750,000株を上限として貸株人より追加的に当社株式を取得する権利(以下、「グリーンシュエアプション」という。)を、2025年7月17日を行使期限として貸株人より付与される予定であります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数が「第2 売出要項 3 売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)」の(注)1.に記載した範囲内で変更された場合には、売出価格決定日に決定されたオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数と同数になるように、グリーンシュエアプションに係る上限株式数も変更されます。

また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、上場(売買開始)日から2025年7月17日までの間、貸株人から借受ける株式の返却を目的として、モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社及び株式会社SBI証券と協議の上、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数を上限とするシンジケートカバー取引を行う場合があります。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、シンジケートカバー取引により取得した株式数については、グリーンシュエアプションを行使しない予定であります。また、シンジケートカバー取引期間内においても、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は、モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社及び株式会社SBI証券と協議の上、シンジケートカバー取引を全く行わないか若しくは上限株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。